

## 「大学入学共通テスト」に英語「資格・検定試験」 結果の活用中止を求める要請書

貴職におかれましては、すべての子どもの成長・発達を保障するゆきとどいた教育の実現に向けてご尽力されていることに、心より敬意を表します。

さて、現高校 2 年生が対象で、「大学入学共通テスト」に英語「資格・検定試験」（以下、「資格・検定試験」）結果の活用が予定されています。しかし、情報不足や大学の取扱いの違いなどで不安と混乱が広がっています。

「資格・検定試験」には、次のような問題点があります。

- ① それぞれの「資格・検定試験」に内容の違いや地域間格差があり、受験料負担も大きく、入試で最も重要な公平性や公正性に関する疑問や不安があること。
- ② 英語民間検定を入試で利用することそのものへの疑問があること。
- ③ 「資格・検定試験」の質に関する実質的な審査がなく、試験の運営が「資格・検定試験実施団体」に丸投げされていること。
- ④ 高校会場の利用等が行われれば、公正・公平が担保されるか懸念があり、また会場準備等で高校教員の負担が生じること。
- ⑤ 全員に受験を課す国立大学が多く、受験生は不合理な経済的・時間的・精神的負担を強いられること

この間、大学入学共通テストを含む大学入試「改革」についての不安や不信感が高まり、大学入試そのものへの信頼性が大きく損なわれています。文科省にはこのような不安や問題を払拭することが求められます。つきましては、以下の点について要請します。

### 記

1. 多くの課題がある「資格・検定試験」の拙速な導入をおこなわず、少なくとも 2021 年度大学入試における活用を中止すること。
2. 「英語 4 技能」測定に固執した入試のあり方を見直すこと。
3. 営利を目的とする民間業者に公教育を委ねる「教育の市場化」を見直し、国は責任をもって教育条件整備に努め、公平・公正な大学入試制度とすること。

以上

年 月 日

氏 名	住 所

お手数ですが、住所欄は「同上」、「〃」ではなく、すべての欄にお書きください。  
お書きいただいた個人情報は、本署名以外に利用することはありません。

【取り扱い団体】大阪教職員組合

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 7-11-706 Tel:06-6768-2330